

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分
 【発行日】平成 19 年 1 月 18 日 (2007.1.18)

【公開番号】特開 2000-282801 (P2000-282801A)
 【公開日】平成 12 年 10 月 10 日 (2000.10.10)
 【出願番号】特願 平 11-338906
 【国際特許分類】

F 0 1 D 5/08 (2006.01)

F 0 2 C 7/18 (2006.01)

【F I】

F 0 1 D 5/08

F 0 2 C 7/18 E

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 11 月 29 日 (2006.11.29)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

熱媒体を流す流路をタービン内に画成する第 1 および第 2 部品であって所与温度に対して相異なる熱応答をなして両部品間の相対移動を発生する第 1 および第 2 部品と、前記第 1 部品により前記流路内に担持されたシールとを含み、前記シールは両部品間の前記相対移動に応じて、前記流路を通る前記熱媒体の流れを調整し、これにより前記流路を通る前記熱媒体の流れを増すか減らして前記第 2 部品の温度を調整する、タービンにおいて、

第 3 部品と前記第 2 部品が互いに結合されそして相異なる所与温度に応じて両部品間の過渡的な熱的不整合を発生し、前記シールは前記流路を通る熱媒体の流れを調整して前記一方の部品をある温度まで加熱または冷却して前記一方の部品と前記第 3 部品との熱的不整合の大きさを所定の熱的不整合以内にとどめ得るよう構成され、

前記第 3 部品はバケットを支持するタービンロータホイールからなりそして前記第 2 部品は前記タービンロータホイールとのさねはぎを有する隣接ホイールからなり、前記隣接ホイールは加熱または冷却されて前記タービンロータホイールと前記隣接ホイールとの熱的不整合を所定熱的不整合以内に減らして両ホイール間のさねはぎの相対変位を防止する、タービン。

【請求項 2】 前記シールは前記第 1 および第 2 部品の一方の前記第 1 および第 2 部品の他方に向かう移動に応じて前記流路を通る流れを減らして両部品の一方または他方から前記熱媒体への熱伝達を減らす、請求項 1 記載のタービン。

【請求項 3】 前記シールは前記第 1 および第 2 部品の一方の前記第 1 および第 2 部品の他方から遠ざかる移動に応じて前記流路を通る流れを増して両部品の一方または他方から前記熱媒体への熱伝達を促進する、請求項 1 記載のタービン。

【請求項 4】 前記第 1 および第 2 部品はそれぞれ前記タービンの静止構成部と回転構成部からなる請求項 1 記載のタービン。